

20世紀世界重大ニュース

20世紀、この100年の歴史を大きく動かした主な事件、出来事をリストアップ

- ・ ライト兄弟初飛行（有人動力飛行機37メートル初飛行） 1903年12月
- ・ 日露戦争（帝国主義を決定づける） 1904年2月～
- ・ 第一次世界大戦（サラエボ事件、ベルギーの中立侵犯等） 1914年6月～
- ・ 関東大震災（死者、行方不明14万2千8百名） 1923年9月
- ・ 第二次世界大戦（ナチスドイツのポーランド・フランス侵攻、連合軍ノルマンディー上陸） 1939年9月～
- ・ 太平洋戦争（真珠湾攻撃、戦艦大和沈没） 1941年12月～
- ・ 広島・長崎原爆投下（黒い雨） 1945年8月
- ・ 日本国憲法公布（吉田茂総理大臣、戦争を放棄する奉答文） 1946年11月
- ・ 東京オリンピック（この年東海道新幹線開通） 1964年10月
- ・ アポロ11号月面着陸（飛行時間195時間18分35秒） 1969年7月～
- ・ ベルリンの壁開放（東西ドイツが一つに） 1989年11月
- ・ 阪神淡路大震災（死者6千人余り、負傷者4万2千人） 1995年1月

2000年の水産10大ニュース

- ①八戸港水揚げ日本一（1月）
平成11年の八戸港の水揚げ高が22万3,886トンと、昭和53年以来21年振りに水揚げ日本一となった
- ②ほたてがいの県漁連取扱金額が8月末で100億円突破（8月）
県漁連によるほたてがいの取扱金額が8月末で100億円を超え、平成11年度の取扱額を上回った（最終的には125億円程度の見込み）
- ③ひらめ漁獲量4年連続で1千トンを超える（4月）
平成11年のひらめ漁獲量が1,006トンと平成8年から4年連続1千トンを超えた
- ④いか肉の新しい加工技術開発に成功（3月）
水産物加工研究所は、いか潰し肉ゲル化技術を開発し、3月に特許出願を行い、地元八戸市（9月6日）及び水産庁（10月20日）等において、展示講習会・試食会を開催し、好評を得た
- ⑤青森県水産試験場創立百周年記念式典開催（7月）
7月19日、鯨ヶ沢町において青森県水産試験場創立百周年記念式典が開催された
- ⑥本県の内水面漁獲量が全国第3位に躍進（4月）
本県の内水面漁獲量が平成11年において、島根県を抜き、初めて全国第3位に躍進した
- ⑦ほたてがい養殖残渣施設及び、ほたてがいウロ処理施設が稼動（2月）
2月から、ほたてがい養殖残渣施設（平内町）、同3月から、ほたてがいウロ処理施設（ほたて貝廃棄物処理協同組合）が稼動
- ⑧新日中漁業協定の発効（6月）
6月1日、新日中漁業協定が発効した
- ⑨八戸市鮫浦漁協婦人部が平成12年度農産漁村高齢者対策優良活動地域表彰において水産庁長官受賞（10月）
10月13日、（社）農産漁村女性・生活活動支援協会が主催する平成12年度農山漁村高齢者対策優良活動地域表彰において、八戸市鮫浦漁協婦人部が直売活動や美しい浜を保全するための広域活動等により、水産庁長官賞を受賞した
- ⑩牛滝漁港「高床式人工地盤」竣工（11月）
佐井村牛滝地区で平成11年度から整備が進められていた人工地盤の整備事業が竣工し、用地不足の解消が図られた

（資料提供は、青森県水産部漁政課による）